



会長 高山泰四郎
幹事 坂本 肇

会長テーマ

「ロータリーの魅力を探ろう！」

例会日/毎週月曜日 12:30~
例会場/トキハ会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

- ・例会出席によって……
- ・委員会活動の実践で……
- ・地区行事への参加で……
- ・家庭集会の場で……



2013~14年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を」

R I 会長
R第2720地区ガバナー
" ガバナー補佐

ロンD・バートン
赤山武興
赤嶺 昭

■ 本日のプログラム (10月21日)

12:30 点 鐘
ロータリーソング 「我等の生業」
ゲスト・ビジターの紹介 会長 高山泰四郎
会長の時間 会長 高山泰四郎
出席報告 委員長 穂田英一郎
幹事報告 幹事 坂本肇
委員会報告 関係委員会
ニコニコタイム 親睦委員長 吉良昌一
今週のお祝い

在籍記念 高山泰四郎会員 8月14日(33年)
大久保修身会員 9月29日(27年)

13:00 職場例会 ~大分県中小企業団体中央会~

■ 第11回例会の記録 (10月7日)

・出席報告 (10月7日)

会員総数	15名(うち名誉会員2名)
10月7日	
出席免除	2名
出席会員数	11名
出席率	91.66%
ゲスト	1名
ビジター	0名
9月9日	
修正出席率	100%

■ 次週の例会 (第13回 10月28日)

林 暁丹さん (米山奨学生) の卓話
「ロータリークラブを通じて豊かな人生を」

ロータリーソング 【我等の生業】

我等の生業さまざまなれど 力むるところは向上奉仕
集いて図る心は一つ おお ロータリアン
求むるところは平和親睦 我等の集い

会長の時間 (10月21日) 会長 高山泰四郎

「ようこそ中央会へ！」

10月の職業奉仕月間行事として、前回の例会では、保護司の塩手公朗様に「職業奉仕賞」を授与させていただきました。そして本日は第二段として「職場例会」を、「大分県中小企業団体中央会」で開催しました。現在、私が会長を務めさせて頂いております「中央会」とは、どんな業務をしているのか、まだまだ世間の皆様方に理解されていません。

本日は「中央会」というものを知って頂く良い機会と捉え、職員の方々のご協力を仰ぎながら、例会を進めたいと思います。中小企業の連携組織(協同組合を始めとする各業界組織)を支援する県下唯一の専門機関である「中央会」の活動の一端をご理解頂ければ、大変嬉しく思います。

会員の皆様も、それぞれの業界に於ける指導的立場でご活躍されていますが、ロータリーの提唱する職業奉仕の理念を、それぞれの業界組織を通じて世の中に浸透させてゆくことが、私共の務めではないかと思います。本日は「中央会」をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト
塩手 公朗 様(大分保護区 保護司)

幹事報告

- ・木下PG職業奉仕セミナーのご案内
11月2日(土)15:00~17:30 ホルトホール会議室(自由参加)
参加希望者は事務局まで

雑誌・広報委員会

＜ロータリーの友 10月号より＞

- ・シドニー不思議な大陸
- ・ロータリーの新しいブランド戦略
- ・絶えたる継ぎ廃れたるを興す

国際時代に通用する自己エンジン搭載の子どもを育てる

米山記念奨学会のあゆみ

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山募金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。この事業は、わずか5年の間に日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展し、1967年には、文部省(当時)を主務官庁とする「(財)ロータリー米山記念奨学会」が設立される運びとなりました。現在、50年以上の歴史を持ち、RIから認証を受けた日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動です。現在も、「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」という思いを込めて運営されています(ロータリー米山記念奨学会史より)。

<米山記念奨学会の特徴>

日本最大の民間奨学事業 ロータリー米山奨学会は、全国のロータリアンの寄付金を財源に日本の大学、大学院をはじめとする高等教育機関で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.4億円(2008年度決算)と、国内では、民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は累計で、15,130人(2009年4月現在)、その出身国は、世界116の国と地域に及びます。

世話クラブカウンセラー制度 奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しています。奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらにその会員の中からカウンセラーが付いて日常の相談役となり、奨学生の留学生在活が心豊かなものになるように配慮しています。例会に参加したり、地域の奉仕活動を体験できるのもロータリーならではのことで、奨学生には、かけがえない経験となると同時にロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

社会奉仕表彰

しおて きみあき
塩手 公朗 氏

①ボランティア表彰のお礼

イ) 今回の様な賞を頂き誠にありがとうございます。高山会長様をはじめ関係者方々に感謝申し上げます。

②大分トリニータのボランティアに関わった経緯

- イ) 旧トリニータのボランティアを約50名で毎試合運営した。
ロ) 弊社各部より2名ずつ10名、自分は全ての試合に。
ハ) 市営陸上競技場会場の設営・警備・受付・本部・メディア等対応
※J2時代、陸上競技場改修工事により、1年間佐伯市にて試合があり朝7時に自宅を出て午後8時に帰宅したことが大変でした。
ニ) 各企業等から参加のボランティアをまとめる(連絡他)のに苦労しました。
ホ) 会社も全面的にバックアップして頂き、全うする事が出来ました。
ヘ) H7年からH17年までボランティアをして、その内後援会長を14年から17年まで歴任しました。(その中でJ1昇格やナビスコカップ優勝等ありました)
ト) 今年のトリニータは、J2の降格が決まり非常に残念です。残り試合にベストを尽くし、来年心新たに奮起して欲しい。

③保護司に関わった経緯(H19年から)

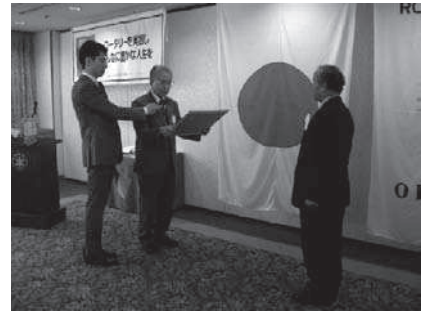
- イ) 大分県保護司連合会の田川事務局長が、大分信用金庫に勤務していた時に声を掛けられた。又前理事長山上様からも勧められてなりました。(当時信用金庫は、現役で3名の保護司が居ました)
ロ) 現在二人の保護観察者を担当しており、1人に付き月に2回、二人なので月4回面接を行っています。(週一ペース)
ハ) 面接結果を翌月の5日までに保護観察所に提出している。

④皆様方に保護司をしてみたい方や興味のある方は、是非私にご連絡を頂けたらと思います。

(因みに平成25年10月1日現在、大分県内に624名、大分市内に139名の保護司が在籍しています)

⑤又、保護観察者や刑務所を出られた人の雇用をして頂く『協力雇用主』を募集していますので、合わせて宜しくお願い致します。

⑥最後に私が大分トリニータのボランティアや保護司を長くさせて頂いているのは会社や家族の理解、ボランティアの皆様方の協力があったからこそ出来ました。改めて御礼を申し上げます。ご清聴ありがとうございました。



例会変更のお知らせ

- 別府中央 RC : 10月22日(火) 職場例会のため「別府美術館」にて 12:30～
別府北 RC : 10月23日(水) 職場例会のため「立命館アジア太平洋大学」にて 12:30～
別府東 RC : 10月31日(月) 別府市美術館清掃活動のため「別府美術館」にて 12:30～